

事業概要

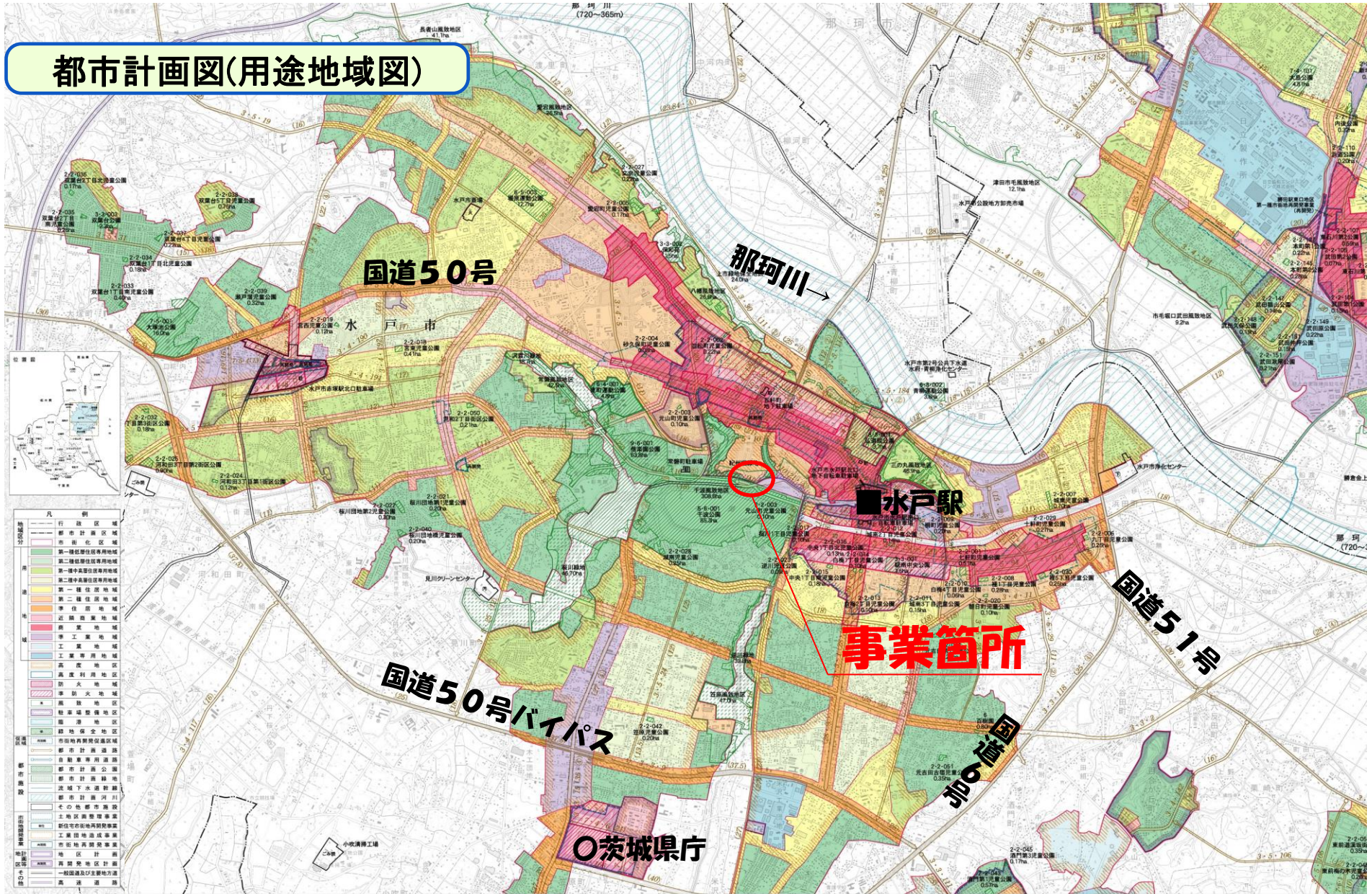
(茨城県：(都)水戸駅平須線)

| | | | |
|------------------|--|--|-----------------|
| 応募No. | 6 | | |
| 事業主体 | 茨城県 | 事業箇所 | 茨城県水戸市常磐町～備前町地先 |
| 応募者名 | 茨城県水戸土木事務所 | | |
| ふりがな 事業名称 | としけいかくどうろ みとえきひらすせん うめとばし4しゃせんかせいびじぎょう 都市計画道路水戸駅平須線 梅戸橋4車線化整備事業 | | |
| 事業概要 (400字以内) | <p>本事業は、茨城県の県庁所在地である水戸市の中心部に位置し、JR 常磐線の直上に架かる跨線橋として、市内を南北に接続する重要な機能を担っているが、架設から70年以上経過し老朽化が著しいこと、朝夕の慢性的な交通渋滞が発生していたことから、平成21年度より梅戸橋の架け替えを含む全体延長610mの区間において4車線化整備事業に着手した。</p> <p>また、本路線は、緊急輸送道路として指定されていることから、復興みちづくりアクションプランに基づき、復興予算を活用した集中的な整備を進めたことで、平成29年8月に暫定2車線(下り線)での供用、そして、令和4年3月には全線で供用開始することが可能となった。</p> | | |
| 事業規模 | 事業延長(km) | 約0.6km | |
| | 幅員(m) | 約25/16m(4車線)、21/13m(橋梁部) | |
| | 事業期間(和暦) | 平成21年～令和3年 | |
| | 事業費(億円) | 約74億円 | |
| 受賞歴 | 有・無 | <p>※他のコンクール等での受賞歴の有無を記載してください。</p> <p>※有の場合、後述の【受賞歴・報道資料】に詳細を記載してください。</p> | |
| URL | 事業に関するホームページを作成している場合はURLを記載。 | | |

事業位置図



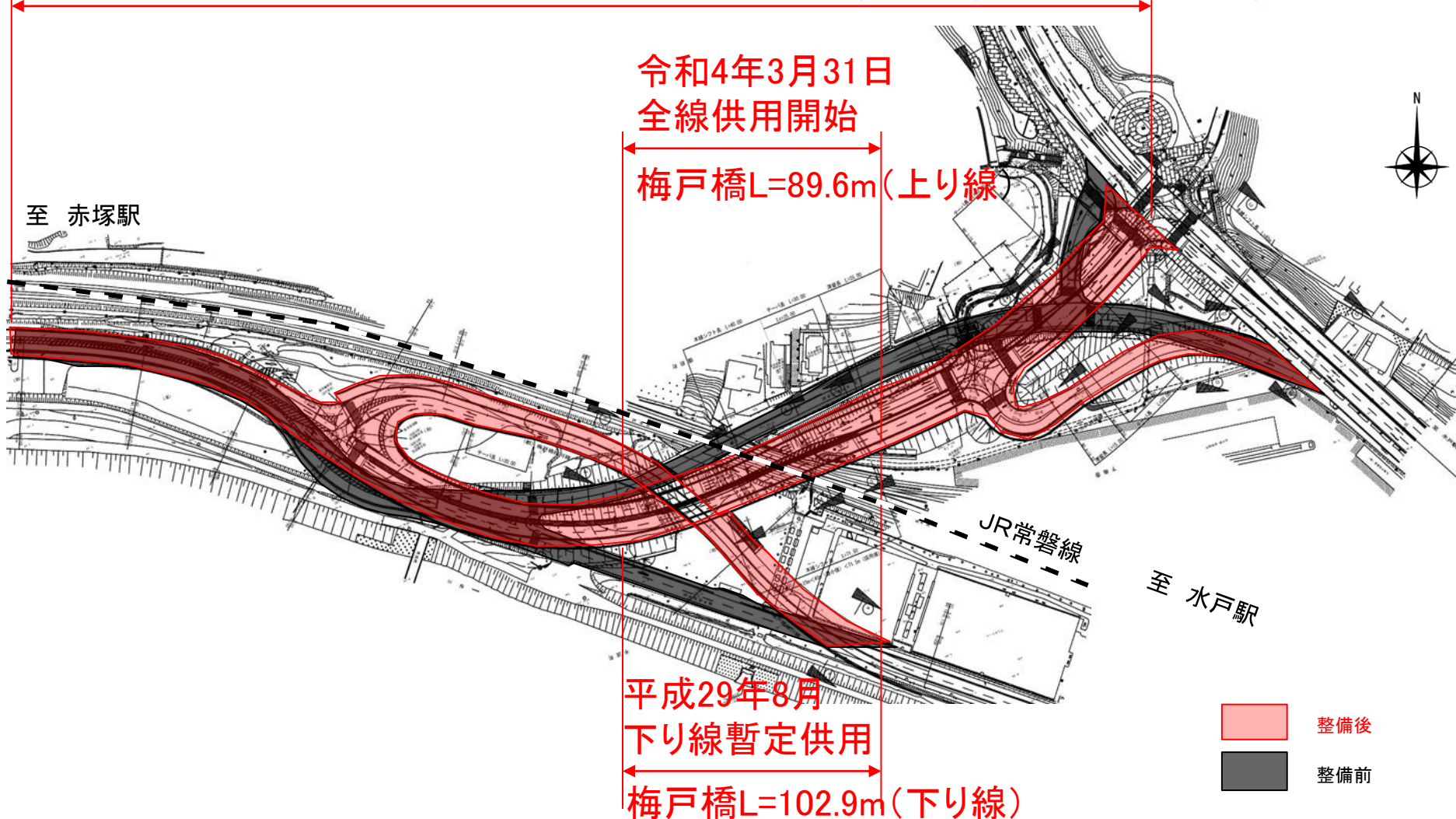
都市計画図(用途地域図)



路線全体の進捗状況

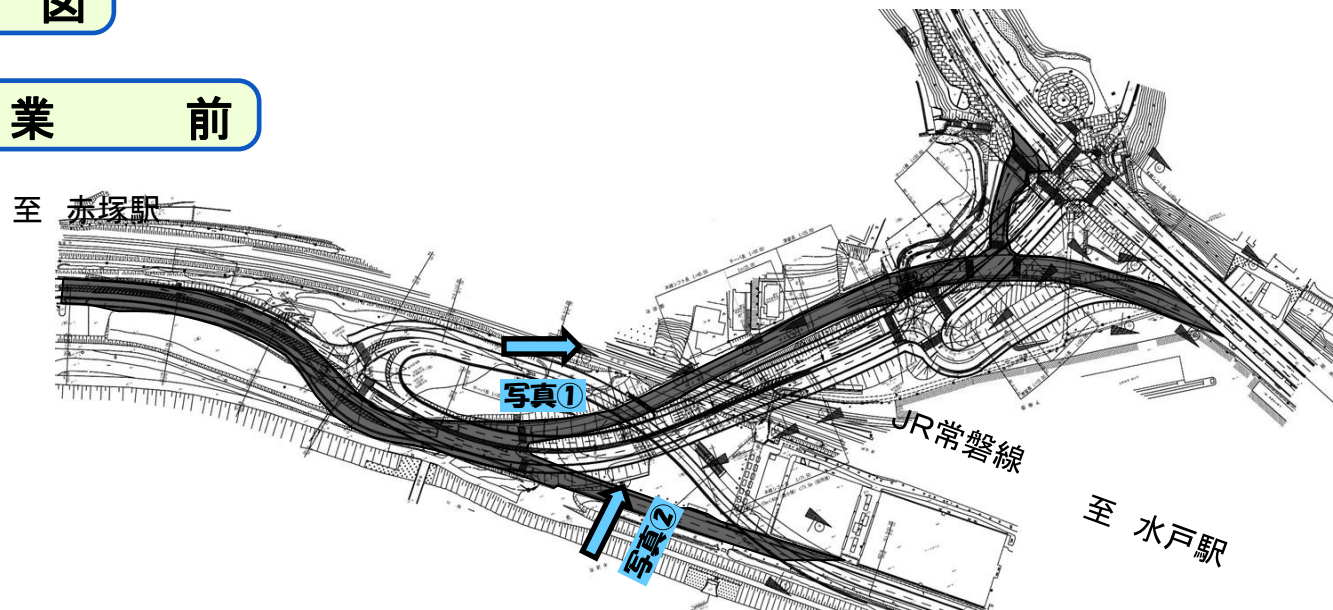
今回応募区間

都市計画道路水戸駅平須線 L=610m W=25/16m(道路部)、21/13m(橋梁部)

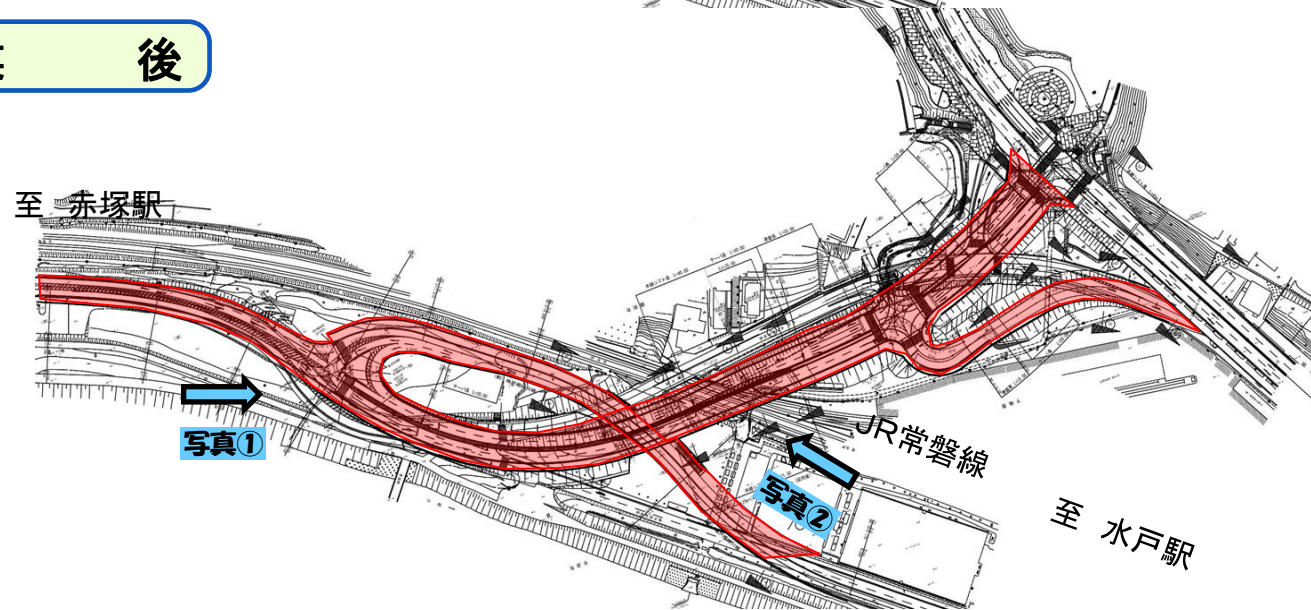


平面図

事業前

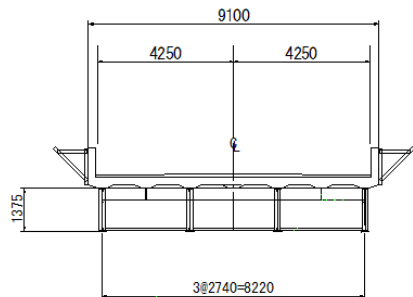


事業後

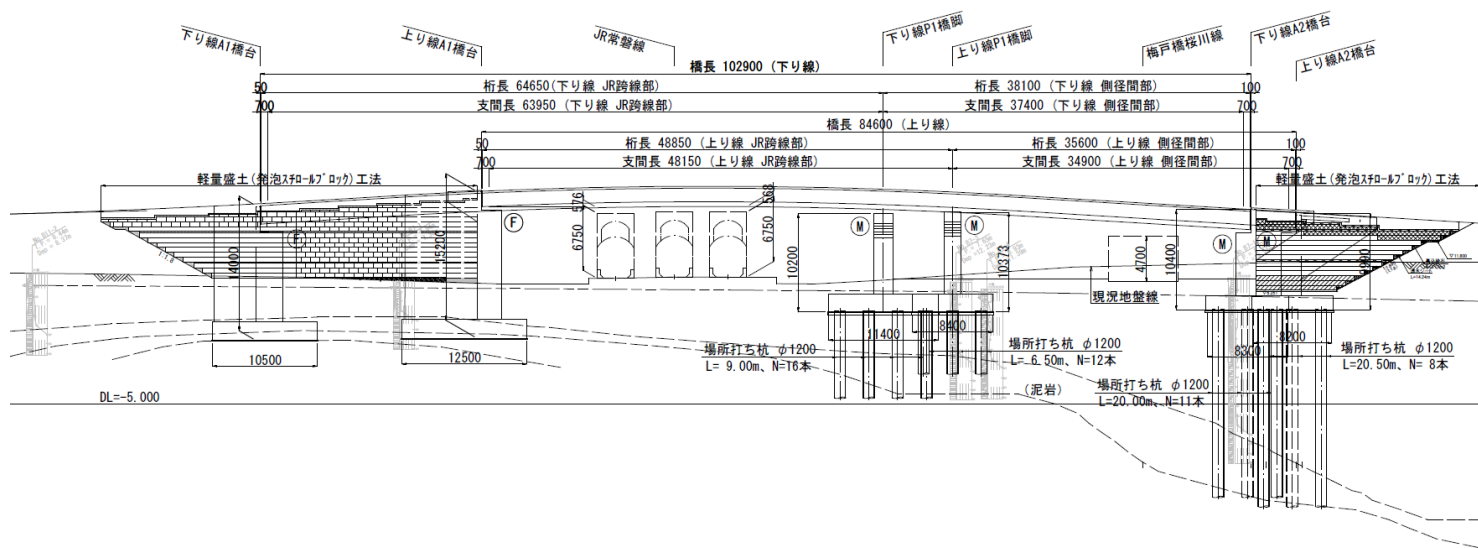
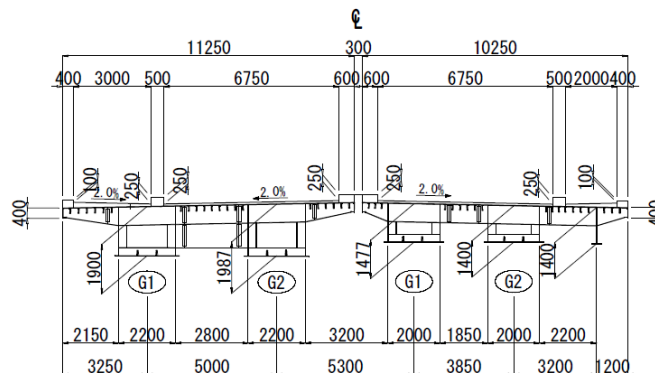


縦断図・横断図

事業前



事業後



事業前写真



平成20年撮影

写真②



平成20年7月撮影

事業後写真



令和4年3月撮影

写真②

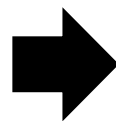


令和4年3月撮影

事業効果アピール資料



架設から70年以上経過で老朽化！



鉄道との関係上、頻繁に維持管理することが困難なため、耐候性鋼材を採用することで、メンテナンスフリーに！



【4車線化による交通渋滞の緩和】

【災害時における緊急輸送道路ネットワークの強化】

地域経済活動等に大きく寄与！

苦労や工夫等アピール資料

本事業は、千波湖に近接する限られたエリアにおいて、水戸駅に直結する重要な複数の路線が輻輳するなか、**1日自動車交通量2万台以上**ある一般交通に配慮しながら工事を進める必要があったことから、道路切廻し等の施工ステップを詳細に検討し、進捗に応じて計画の修正や施工範囲の見直しを行い、**計11回の切廻し**を行いながら、効率的に事業を進めた。

また、橋梁工事では、限られた時間内に施工を行わなければならないため、現場における様々な制約条件をクリアする必要があることから、工法選定、架設計画策定等の各段階において、鉄道事業者等の関係者と様々な検討を重ねながら方針を決定し、ガードー設備による旧橋撤去や橋梁架設では大型クローラークレーン(750t)による一括架設工法を採用し、**鉄道の運行に影響を与えず工事を実施した。**

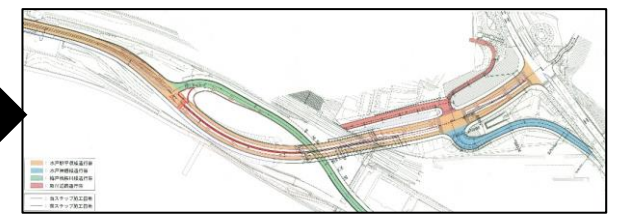
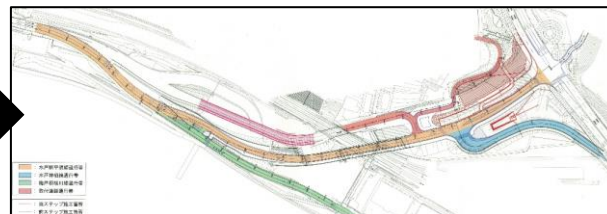
道路切廻しステップ(抜粋)



旧橋撤去状況



架設状況(上り線)



受賞歴・報道資料

なし
(地元新聞に開通時には掲載あり)

TV報道、受賞歴 等